

9/8 ミツバチでサンゴ保全

恩納村赤土流出防止対策協議会主催による「ハニー＆コーラルプロジェクト」の採蜜結果発表会が役場で開催され、村長をはじめ、農家、事業関係者が参加しました。

ハニー＆コーラルプロジェクトは、陸域からの赤土流出を抑制し、サンゴ礁の保全を図ることを目的としており、農地への緑肥による赤土流出対策の導入や農道沿いに蜜源木の植樹等を実施しています。

また、その周辺にミツバチの巣箱を設置することで採蜜を行い、得られた蜂蜜の収益の一部は、農家の赤土流出防止対策に還元される予定で、この取り組みを通して環境保全と地域循環の仕組みづくりを目指しています。

今年度は15名の農家等がプロジェクトに参加し、過去最高、計177kgの蜂蜜が採蜜されました。採蜜された蜂蜜は「おんなの駅」が買い取り、その後、株式会社 井ゲタ竹内を通じて、恩納村産モズクの「味付けモズク」の原料として使用され、全国で販売される予定です。



10/6 6年ぶりの組踊「久志の若按司」を上演

五穀豊穡を願う豊年祭(二才団主催)が瀬良垣区で行われ、区民をはじめ多くの観客が伝統芸能を堪能しました。

豊年祭は、長者の大主で幕を開け、浜千鳥や松竹梅の演目など12演目の多彩な演舞が披露されました。組踊「久志の若按司」は2時間半の長編。複雑な駆け引きや刀で斬り合う迫力ある演舞に観客は見入っていました。

団長を務めた當山幸四郎さんは「二才団員と区民の努力に加え、家族や関係者のご理解ご協力があった開催できた」と感謝を述べていました。



9/24 農業担い手研修生と意見交換

長浜村長は仲泊地区に整備した恩納村農業拠点産地品目等担い手育成研修施設の視察を行いました。

視察では恩納村農業経営アドバイザーの松田氏と研修生との意見交換を行い、研修生からは農地、農業用水の確保、販路開拓の難しさについて意見がありました。農林水産課長から農業用水の確保について、現在可能性調査を行っていることと、農地の確保について農業委員会との連携を図り農地のあっせんについて図っていくことの説明がありました。